



3ヶ月で花嫁衣装が映える体型になる特選プログラム

はじめに

その思いが芽生えたのは、娘の結婚式でのことであった。大きく開いた花嫁衣装に映える娘の背中を見た時 頭の中を稲妻が走ったのだ。

真っ直の背筋に誇らしげに咲いたバランスの取れた左右対称の肩甲骨、しなやかに伸びた二の腕、そして、ツヤツヤの肌が織り成す絶妙な美しさに、大きな感動を覚えたのだ。



最近、涙腺が緩くなっていることは、十分自覚していた。 きっと、定番のクライマックスである両親への手紙では、衆目の前で大泣きの醜態を晒す覚悟は出来ていた。厚手のタオル地のハンカチも用意した。

しかし、想定外であった。彼女の希望でバージンロードを母親と歩くことになった娘が、新郎の腕に手を回し、最前列に腰かけるボクの前を通り過ぎた時に、眼に飛び込んで来た娘の背中の中の神々しいばかりの耀きにこみ上げてしまったのだ。

娘が通り過ぎる度、周囲から感嘆のざわめきが起こっていたので、「何で？」と、ワクワク感があったのだが、それは、イベントが始まって、まだ、数分しかしか経っていなかった。格闘技ならば秒殺であった。

そして、心の中で叫んでいた「どうだ、これがボクの娘だけ、素敵だろう。」と！ それから、心の声は続いた。「そうだ、この感動を出来るだけ、多くの人に味わってもらう為に、書籍にして、結婚式で感動を与える背中作り方を広めよう。」と！

折しも、当時、エクササイズDVDと骨盤調整グッズをコラボさせた、姿勢改善アイテムを開発中であった。 なんと、それをそのまま花嫁サポートに転用できるではないか、これは、正に天の啓示、神様が巡り合わせてくれた奇跡のタイミング、絶好の好機であると確信したのだ。

今、私達日本人はかつて経験したことの無い、厳しい時代を迎えています。バブル崩壊以来一向に本格的回復をしない経済情勢は、昨今のヨーロッパに端を発した世界同時不況によって、益々深まる混迷の淵にある。

千年1度と言われる大震災に原発事故も起きた、いつしか、大人は自身を失い、若者は夢を語らなくなった。

そして、私が最も危惧していることは、若者世代に起きている心と身体の弱体化、引きこもりが160万人に上るとの統計も有り、なんと1年に生まれる子供の数にも匹敵するもので、これは、少子化に拍車が掛かり、あらゆる産業、国家そのものの衰退を危惧させる極めて深刻な事態である。

ボクは常に抱いている1つの確信がある。それが、『この若者の引きこもりの大課題を解消しない限り、我が国に未来は無い。近い将来、必ずや3流国家に陥ってしまう。』である。考えてもらいたい、引きこもりの若者は、異性に関心が低いので、結婚して子供を産み育てることをしない。また、働いて納税をしないばかりでなく、多くのケースでやがて生活保護の対象となって、国家の福祉に大きな負担を掛けるのだ。

ただでさえ、高齢者の急増で医療と介護負担費用の増大に疲弊している現状にあって、本来、国の産業や福祉を支えるはずであった大勢の若者が、数10年に渡って福祉の世話になる。正に想定外、危機的状況である。

では、どうすればイイのか、解決策はあるのか、数年前から『若者が夢を語れる国造り』をライフワークに、コンテンツを作成発信している私は、この大きな課題を解決する為の具体的活動を始めた。

それが、平成24年3月に始めた、“気付きの連鎖でエクササイズの輪を広げ”て、若者の身体と心の健康を取り戻し、引きこもりのターニングラインポイントを越えさせない為の支援を行う、『国民幸せ量.倍増プロジェクト』である。

そして、この度、娘の結婚式で内なる声に突き動かされて本書の執筆に至った背景には、一貫して持ち続けた『若者が夢を語れる国造り』への熱い情熱があったからに他ならない。

私の想い、プランは、ズバリこうである。人生最大のイベントである結婚を契機に運動の習慣を身に付け、丈夫な赤ちゃんを安産で産んでほしい。また、いつまでも着物が映える体型を保って、年齢を重ねてもキレイで健康な女性を沢山増やしたい。

つまり、日本の女性をキレイに健康にすることで、日本全体を元気に活性化させるのである。何故ならば女性は一家の太陽、母親が元気にはつらつと輝けば、子供は情調の安定した良い子に育ち、男は魅力的な女性のハートを射止めるために一生懸命働くからである。

したがって、本書を執筆した意図には、単なる流行りのエクササイズ本としてではなく、永く手

元に於いてご愛読頂けるようなもの、そして、ブライダル業界や和装関連の業界が、全体が活性化、日本が元気に明るくなって、日本の幸せの総量が倍増する事を願ったものであります。

本書との出会いが、貴殿の壮健の一助となりますことを切望致します。